

# 「成長」174号(2021年7・8・9月) グレード4-5 ワークシート

\*教会学校教案誌「成長」174号の学びに合わせたワークシートです。本誌と併せて、教会やご家庭で、予習・復習・ディスカッションなどにご利用ください。

\*聖書を開いて答えを書きましょう。聖書に直接答えが書いていないものは、教師が本誌の分級教案を参照してください。

\*解答例も別途ダウンロードできます。

## 単元13 山上の説教

月日	タイトル	聖書箇所
7/4	本当の幸い	マタイ5:1～12
7/11	地の塩・世の光	マタイ5:13～16
7/18	和解する	マタイ5:21～26
7/25	敵を愛する	マタイ5:43～48
8/1	神の国と神の義を求める	マタイ6:19～34
8/8	さばかない	マタイ7:1～5、ガラテヤ6:1～5
8/15	求め、探し、たたか	マタイ7:7～11、ルカ11:5～13
8/22	岩の上に建てた家	マタイ7:24～29

## 単元14 士師の時代

月日	タイトル	聖書箇所
8/29	ギデオンの召命	士師6章(2:8～19)
9/5	ギデオンの戦い	士師7章
9/12	サムソン	士師13～16章
9/19	ルツの信仰	ルツ1章
9/26	祝福を受けたルツ	ルツ2～4章

# グレード4-5 ワークシート

## 7/4 本当の幸い

マタイ5:1~12

1 あなたが考える「幸いな人」とは、どのような人ですか。また、世の中ではどのような人が幸せだと考えられているでしょうか。

2 主イエスは、どのような人が幸いであると言われましたか。

節	どのような人が幸いか	なぜ幸いなのか
3	_____者	_____はその人たちのものだから
4	_____者	_____から
5	_____な者	地を_____から
6	_____に飢え渴く者	_____から
7	_____者	_____を受けるから
8	心の_____者	_____を見るから
9	_____をつくる者	_____と呼ばれるから
10~12	義のために_____されている者	_____はその人たちのものだから

3 「心の貧しい者」とは、どういう人のことでしょうか。なぜ、それが幸いなのでしょう。

4 なぜイエスは、迫害を受ける時、「大いに喜びなさい」と言われたのでしょうか。(12節)

5 1の答えと、イエスがおっしゃった幸いは、どのような点で違っていますか。

## 7/11 地の塩・世の光

マタイ 5：13～16

- 1 塩にはどんな働きがありますか。
- 2 私たちが「地の塩」であるとは、具体的にどのような存在であることを言っていると思いますか。  
(コロサイ 4：6 参照)
- 3 光にはどんな働きがありますか。
- 4 私たちが「世の光」であるとは、具体的にどのような存在であることを言っていると思いますか。  
(エペソ 5：8～11 参照)
- 5 地の塩、世の光として生きる目的は何でしょうか。(16 節)
- 6 光を隠したりしないで、人々の前で輝かせることが期待されています。それは、今のあなたにとって、どのように生きることだと思いますか。

## 7/18 和解する

マタイ 5:21～26



「殺してはならない」とは、イスラエル人たちが神から与えられた「十戒」の第六戒です。しかし律法学者やパリサイ人たちは、この教えに「人を殺す者はさばきを受けなければならない」をつけ足したようです。そして、人殺しさえしなければ罪に問われないのだ、と理解されるようになりました。主イエスは、この律法の本当の意味を教えてくださいました。

- 1 イエスは、どのような言動が「殺してはならない」という律法に背くことだとおっしゃいましたか。(22 節)
- 2 人に対して怒ったり、悪いことばを言うことは、罪だと思えますか。イエスは何とっておられますか。
- 3 イエスは、兄弟（周りの人たち）との関係に問題があるとき、どうするよう言われましたか。(24～25 節)
- 4 修復が必要な人間関係があれば、どのように一歩を踏み出せばよいか、考えてみましょう。

## 7/25 敵を愛する

マタイ 5：43～48



「自分の隣人を愛しなさい」は、レビ 19：18 に記されている律法です。「あなたの敵を憎め」という教えは旧約聖書には出てきませんが、ユダヤ人は「隣人」を自分の仲間であるユダヤ人に限定し、神を知らない外国人は「憎むべき敵」と見なしていたようです。このような理解に対して、イエスは正しい理解と態度を教えてくださいました。

- 1 イエスは、上記のような律法の理解に対して、何と教えましたか。(44 節)
- 2 その理由は、「天におられるあなたがたの父の子どもになるため」とあります。天の父はどのようなお方ですか。(45 節)
- 3 私たちは、自分に良くしてくれる人と、害をもたらす人に、どのように接しているでしょうか。(46～47 節参照)
- 4 あなたには「敵」と思えるような人、愛せない人、祈りたいと思えない人がいますか。
- 5 神の子とされた私たちが、神の完全な愛に倣うために必要なことは何だと思いますか。

8/1

## 神の国と神の義を求める

マタイ 6:19～34

1 地上の宝、天の宝とは、どのようなものことだと思えますか。あなたの心は、どちらに置かれていますか。(19～20節)

2 イエスは貧しい人々に、食べ物や着物のことで心配してはいけない、とおっしゃいました。なぜ心配しなくてよいのでしょうか。空欄を埋めましょう。(26～32節)

- ・ \_\_\_\_\_ は、自分で食べ物を育てたり蓄えたりすることもないが、 \_\_\_\_\_ は養ってくださる。ましてやあなたがたは、鳥よりもずっと \_\_\_\_\_。
- ・ 心配したからといって、 \_\_\_\_\_ を延ばすことはできない。
- ・ 明日は炉に投げ込まれる \_\_\_\_\_ でさえ、神は美しく咲かせてくださる。ましてやあなたがたには、もっと \_\_\_\_\_。
- ・ あなたがたの必要は \_\_\_\_\_ が知っておられる。

3 「まず神の国と神の義を求める」(33節)とは、具体的にどうすることだと思えますか。

4 あなたが心配していることと、その理由を考えてみましょう。今日の学びから、その心配事にどう向き合えばよいと思えますか。

8/8

## さばかない

マタイ7:1～5、ガラテヤ6:1～5

1 聖書の中では、「神が罪人をさばく」など、「さばく」という表現がよく出てきます。それは、良いことと悪いことを区別して、ふさわしく報いや罰を与えることといえるでしょう。イエスはマタイ7:1で、「さばいてはいけません」と言われました。この場合の「さばき」とはどのようなことだと思いますか。

2 なぜ、さばいてはいけないのでしょうか。(マタイ7:1～2、ヤコブ2:13)

3 自分の目の中に梁(丸太)があるのに、他の人に対して、「目の中のちりを取り除かせてください」と言うのは、人間のどのような姿を言っているのでしょうか。あなたにも、そのようなことをした経験がありますか。

4 他者の欠点や過ちに気づいたとき、さばくのではなく、どうすればよいでしょうか。(ガラテヤ6:1～5)

## 8/15 求め、探し、たたく

マタイ 7:7～11、ルカ 11:5～13

1 イエスは、求めることについて、どのように教えておられますか。

・誰に求めるのか (マタイ 7:11、ルカ 11:13)

・どのように求めるのか (マタイ 7:7～8 [新改訳聖書欄外注も参照]、ルカ 11:5～10)

・何が与えられるのか (マタイ 7:11、ルカ 11:13)

2 パンを求めた人のように、神にしつこく、熱心に祈り続けていることがありますか。または、応えられそうにないのでやめてしまったことがありますか。

3 神は、熱心に祈るならどんな願いでも応えてくださるでしょうか。(Iヨハネ 5:14)

4 神は私たちに必要なものをご存じなのに (マタイ 6:8)、なぜ熱心に祈ることが大切なのだと思いますか。

5 自分自身の祈りを振り返り、今後、何をどのように祈っていきたいか書きましょう。



# グレード4-5 ワークシート

8/22

## 岩の上に建てた家

マタイ7:24～29



「山上の説教」の締めくくりに、イエスは印象的なたとえを話されました。岩の上に土台を据えて家を建てた人と、砂の上に家を建てた人の話です。「家」はその人の人生、「土台」はその人が信頼しているもの、「雨」「風」は人生に起こる困難と捉えることができます。

1 イエスがおっしゃったのは、どういう人のことでしょうか。表を完成させましょう。

	岩の上に家を建てた人	砂の上に家を建てた人
何と呼ばれる？	_____人 (24 節)	_____人 (26 節)
どんな人をたとえている？	(24 節)	(26 節)
雨や風 (困難) に襲われると家 (人生) はどうなる？	(25 節)	(27 節)

2 岩の土台とは、何のことだと思いますか。

3 あなたの人生の土台としているもの (大切にしているもの、頼りにしているもの) は何ですか。

8/29

## ギデオンの召命

士師 6 章 (2 : 8 ~ 19)



出エジプト以降の歴史を思い出しましょう。モーセの時代、イスラエルの民は神の奇跡によってエジプトを脱出しました。その後、荒野の 40 年を経て、指導者ヨシュアのもとカナンの地に入り、その町々を獲得していきました。それぞれの部族に土地が割り当てられ、定住するようになったイスラエル人たちでしたが、カナンの文化に影響され、その地の偶像を拝み、神の前に悪を行うようになりました。

- 1 神は、なぜ 7 年間もイスラエル人をミディアン人に苦しめられるままにしておかれたのだと思いますか。(6 : 1、7 ~ 10。2 : 12 ~ 14 参照)
- 2 民の叫びに応じて、神は彼らを救うために「さばきつかさ」と呼ばれるリーダーを選びました。選ばれたギデオンは、どのような人物でしたか。(6 : 11、13、15、17)
- 3 神はどのようにギデオンを励まし、働きに就かせましたか。(6 : 12、14、16、17 ~ 23)
- 4 神は、どのような人物をお選びになるでしょうか。その理由も考えてみましょう。(1 コリント 1 : 26 ~ 29 参照)
- 5 あなたは、どのような働きに召されていると思いますか。

9/5

## ギデオンの戦い

士師 7 章

- 1 ギデオンの呼びかけに応じたイスラエルの兵士は 3 万 2 千人。ミディアン人などの周辺民族の連合軍は、13 万 5 千人でした。それなのに、なぜ神は「兵が多すぎる」とおっしゃったのでしょうか。(2 節)
- 2 イスラエルの兵士として選ばれたのは、どのような人たちだといえるでしょうか。(3、5～6 節)
- 3 300 人で戦いに出ることになったギデオンは、どんな気持ちだったと思いますか。そのようなギデオンに、神はどうしてくださいましたか。(9～15 節)
- 4 イスラエル軍は、どのような方法で勝利しましたか。そこに、どのような神の働きがあったでしょうか。(16～22 節)
- 5 自分の力ではできないことだったけれども、神が成し遂げさせてくださった、と確信した経験がありますか。その時、どのように神に感謝や賛美をささげましたか。

## 9/12 サムソン

士師 13～16 章

1 サムソンが生まれたころのイスラエルは、どんな状況でしたか。(13：1)

2 サムソンは、どのような人でしたか。空欄を埋めましょう。

- ・母のおなかの中にいる時から、\_\_\_\_\_にささげられたナジル人で、\_\_\_\_\_人の手からイスラエルを救う使命が与えられていた。(13：5)
- ・サムソンは両親に反対されたが、\_\_\_\_\_人の娘と結婚しようとした。(14：3)
- ・ナジル人は死体に触れてはいけなかったが、\_\_\_\_\_の死体に触って\_\_\_\_\_を食べた。(14：9)
- ・主の霊によって、\_\_\_\_\_が与えられていた。(14：6、15：14～15、16：3)
- ・\_\_\_\_\_という愛する女性にせがまれて、自分の秘密を教えてしまった。すると、彼の\_\_\_\_\_は彼を\_\_\_\_\_。(16：18～19)

3 サムソンの力の源はどこにあったのですか。(16：20)

4 牢<sup>ろう</sup>の中で臼をひくサムソンは、どんな気持ちだったと思いますか。(21 節)

5 ダゴンの神殿で、サムソンはどのように祈りましたか。神はどうお応えになりましたか。(16：28～30)

6 今日の学びから、神がどのようなお方であることがわかりましたか。

9/19

## ルツの信仰

ルツ 1章



ルツ記は、先週まで学んだ士師の時代と同じ時期の出来事を記しています。しかし、士師記とは打って変わって、ある家族の美しい物語が描かれています。

- 1 イスラエル人のエリメレク家は、飢饉のためベツレヘムからモアブという外国に移住しました。そこでどのようなことがありましたか。(3～5節)
- 2 ナオミと嫁たちの会話から、彼女たちのどのような関係が読み取れますか。(6～14節)
- 3 ルツは、なぜナオミと一緒にベツレヘムへ行くと固く決心していたのでしょうか。(16～18節)
- 4 ルツがナオミと2人で異国のベツレヘムに行くことには、どのような困難、失うもの、得るものがあったと思いますか。
- 5 あなたが「まことの神に従う」という決断をしたのは、どのような時でしたか。

9/26

## 祝福を受けたルツ

ルツ 2～4章

- 1 落ち穂拾いに出かけたルツを、神はどのように導いてくださいましたか。(2：3～4)
- 2 ボアズはルツにどのように接しましたか。(2：8～12、14～16)
- 3 ナオミはルツをどのように思っていたのでしょうか。(3：1～4)
- 4 ルツはナオミにどのように接しましたか。(2：11、17～18、3：5～6)
- 5 神は、ルツとナオミにどのような祝福をもたらしてくださいましたか。(4：9～10、13、17、マタイ 1：1～16)
- 6 先週から見てきたルツ、ナオミ、ボアズの姿から、神に従うことや人への態度について、どんなことを学びますか。